

第二回東北海洋生物学教育フォーラム「大学教育と海」

(12月13日 13時30分から17時45分まで)

概要

第一部：大学教育と海 -東北大学-

東北大学は全学部一年生対象の全学教育科目の一つとして、少人数制教育プログラム「基礎ゼミ」を開講しています。東北大学全学教育では「海」はどのように活用されているのでしょうか。基礎ゼミで「海」に関する教育プログラムを実施しておられる経塚啓一郎先生（当センター）と池田実先生（東北大学）に、「海」を利用した教育プログラムの実例と、全学教育における「海」の利用可能性についてお話しいたします。

第二部：大学教育と海 -青森県内の大学-

当センターは青森県内の大学の教育活動にも協力しています。短時間でセンターにアクセスできる近隣の大学ならではのメリットを生かし、これまでになかったタイプの教育活動も始まっています。センターを利用した「海」関連の教育プログラムを実施しておられる佐藤昌泰先生（青森大）と大高明史先生（弘前大）に、所属大学の全学教育・専門教育の概要と、センターを利用した教育活動についてお話しいたします。

第三部：大学教育と海 -多様な可能性-

当センターはこれまで主に生物学の専門教育の場として利用されてきましたが、今後は生物学に限らず、多様な分野の教育活動への貢献を目指しています。「海」とさまざまな分野の大学教育はどのような形で接点を持ちうるのでしょうか。第三部ではこの点に焦点を置き、高橋大輔先生（長野大）には非生物系の学生に対する生態学教育の御経験について、芳賀満先生（東北大）には海洋生物の文化的存在としての意義について、それぞれお話しいたします。

第四部：大学教育と海 -新たな取り組み-

第三部までのご講演を参考に、出席者全員で大学教育における「海」関連教育プログラムの可能性と問題点について議論します。